



平成 28 年 10 月 13 日

九州地方整備局

立野ダム工事事務所

## 立野ダムに関わる最近の取り組みについて\*

～理解を深めて頂くための取り組み及び立野ダム建設予定地周辺の復旧状況～

### 1. 理解を深めて頂くための取り組み

○「立野ダム建設に係る技術委員会」（各分野の第一人者で構成）において、流木や巨石により洪水調節機能に支障がでるような影響はないことを含め、公開の場で議論いただき、「熊本地震後も立野ダムの建設に支障となる技術的な課題はなく、立野ダムの建設は技術的に十分可能」等との結論を得ているところです。

○この委員会の結論について、地元の方々のご理解を深めて頂くための取り組み状況をお知らせいたします。

#### 【最近の取り組み】

今月 4 日には、菊陽町の町長・議長をはじめとする 38 名の方々に、また 7 日には、大津町の町長・全町議会議員等 35 名の方々に、ダム建設予定地周辺の現地説明を行いました。（別紙 1）

○今後も県や市町村と連携し、ご理解を深めて頂くための取り組みを行っていきます。

### 2. 熊本地震後の立野ダム建設予定地周辺の復旧状況

○熊本地震及びその後の出水で被災したダムサイト上流の工事用仮橋について、残された橋脚や橋台の健全度を調査した結果、再活用できることがわかりました。

今後、これらを再活用し、工事用仮橋の復旧を進めていきます。（別紙 2）

※今回の記者発表は、平成 28 年 9 月 23 日「地震後の立野ダムに関わる区域の状況について【第 6 報】～地元の方々のご理解を深めて頂くための取り組み～」の続報です。

#### 【問い合わせ先】

（1 に関する問い合わせ）

国土交通省 九州地方整備局

TEL : 092-471-6331（代表）

河川部 河川計画課長

坂井 佑介（内線 3611）

（2 に関する問い合わせ）

国土交通省 立野ダム工事事務所

TEL : 096-385-0707（代表）

技術副所長

寺下 進一（内線 204）

- 10月4日に、菊陽町の町長及び職員、町議会の議員、区長の皆さま計38名に、委員会の結論をまとめた概要版を用いて、立野ダム建設予定地周辺で現地説明を行いました。
- 菊陽町長からは、「今後も引き続き情報共有して頂き、立野ダム建設が一日も早く進むようによろしく願います。」とのご意見を頂きました。



委員会報告書（概要版）説明の様子



ダムサイト視察の様子



- 10月7日に、大津町の町長及び町議会の全ての議員、職員の皆さま計35名に、委員会の結論をまとめた概要版を用いて、立野ダム建設予定地周辺で現地説明を行いました。
- 大津町長からは、「今後もしっかり予算を投入して、素晴らしい安全なダムを造っていただくようお願い申し上げます。今後もダム推進をしっかりと応援していきたい。」とのご意見を頂きました。



委員会報告書（概要版）説明の様子

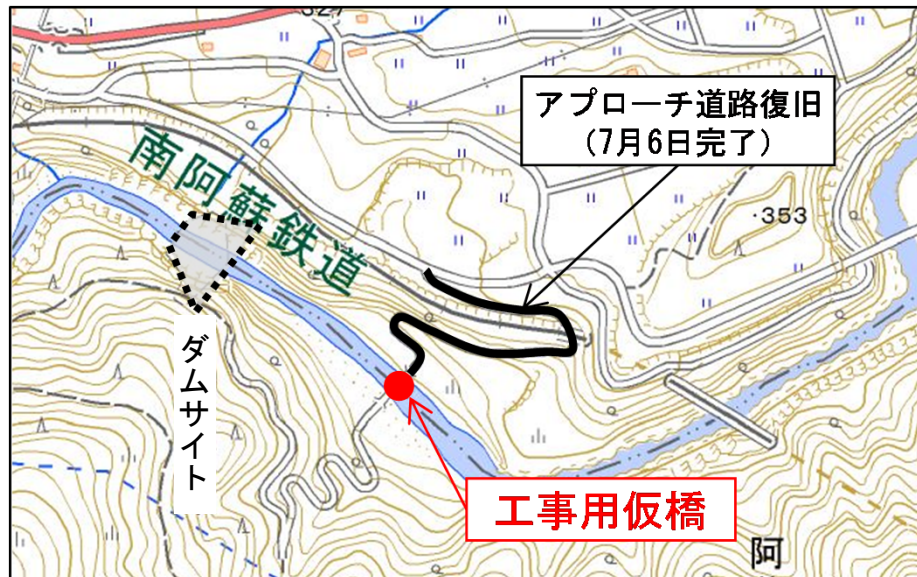


貯水池周辺斜面の視察の様子

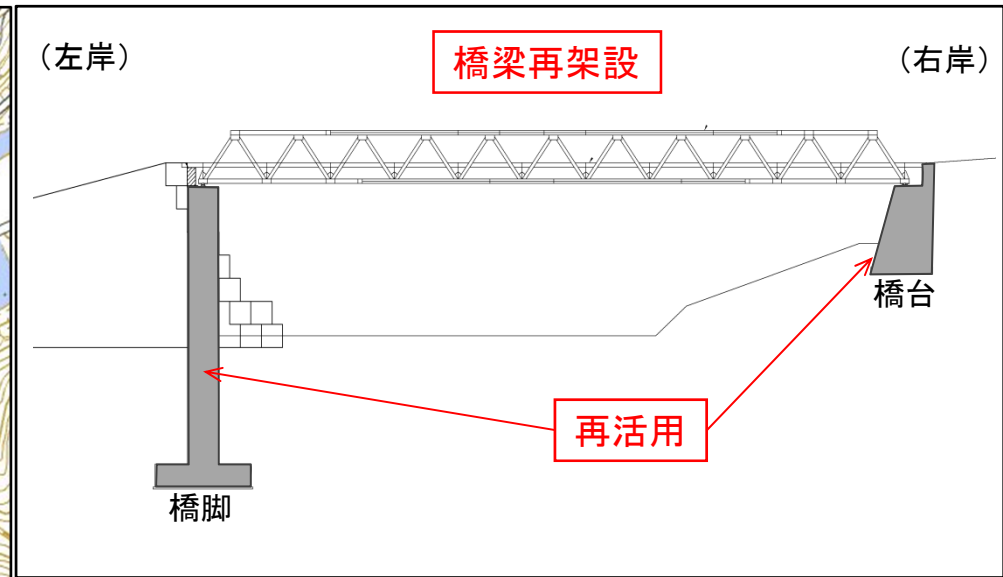
# 熊本地震後の<sup>たての</sup>立野ダム建設予定地周辺の復旧状況

別紙2

- 熊本地震及びその後の出水で被災したダムサイト上流の工事用仮橋について、残された橋脚や橋台の健全度を調査した結果、再活用できることがわかりました。
- 今後、これらを再活用し、工事用仮橋の復旧を進めていきます。



位置図



工事用仮橋の復旧イメージ



橋台(右岸)の健全度調査



橋脚の状況(再活用)



橋台(右岸)の状況(再活用)



(参 考)

「平成 28 年熊本地震」を受け、立野ダム工事事務所では、現場復旧や地元の方々のご理解を深めていただくための様々な取り組みを行っています。

これまでの取り組みは以下のとおりです。今後、随時更新・記者発表してまいります。

【熊本地震後の立野ダム建設予定地周辺の復旧状況について】

○熊本地震及びその後の出水で被災した河川内にアプローチするための道路の復旧を 7 月 6 日に完了しました。

○熊本地震及びその後の出水で被災したダムサイト上流の工事用仮橋について、残された橋脚や橋台の健全度を調査した結果、再活用できることがわかりました。今後、これらを再活用し、工事用仮橋の復旧を進めていきます。

【立野ダム建設に係る技術委員会について】

○学識者からなる「立野ダム建設に係る技術委員会」を設置し、平成 28 年熊本地震後の立野ダム建設に関し、技術的な確認・評価に関する検討を公開の場で議論いただきました。

○8 月 17 日の委員会で「熊本地震後も立野ダムの建設に支障となる技術的な課題はなく、立野ダムの建設は技術的に十分可能であると考えられる」等との結論を得ました。

【理解を深めて頂くための取り組みについて】

○委員会の結論を「立野ダム建設に係る技術委員会報告書（概要版）」としてわかりやすくとりまとめ、9 月 16 日に立野ダム工事事務所 HP に掲載しました。また 9 月 20 日より白川流域の 21 箇所を設置・配布しています。

○「立野ダム建設に係る技術委員会報告書」を 9 月 23 日に立野ダム工事事務所 HP に掲載しました。また 9 月 26 日より白川流域の 21 箇所で開催しています。

○委員会の結論に関する問合せ窓口を設置しました。

※問合せ窓口：九州地方整備局 立野ダム工事事務所 調査設計課  
TEL：096-385-0707（代表）  
E-MAIL：tateno-otazune@qsr.mlit.go.jp

○委員会の結論をまとめた概要版を用いて立野ダム建設予定地周辺の現地説明を行っています。

- ・ 9 月 13 日 南阿蘇村（村長及び職員、村議会の全ての議員の皆さま）
- ・ 10 月 4 日 菊陽町（町長及び職員、町議会の議員、区長の皆さま）
- ・ 10 月 7 日 大津町（町長及び職員、町議会の全ての議員の皆さま）

○立野ダム建設予定地の現地状況や工事状況が確認できる眺望場所の整備を進めています。

10 月末を目処に立野ダム建設事業に関する説明パネル等の設置を予定しています。